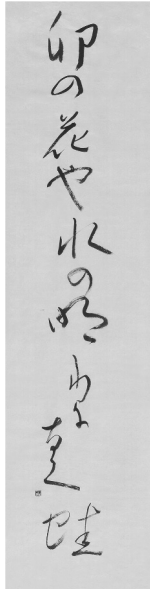


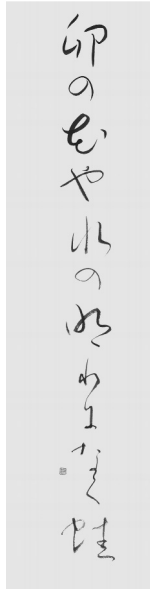
このページは書玄同人(全部門師範合格者)の秀作を紹介する欄です。

# 同人秀作

審査 大楽悠雪・山田翠香



平井 邦子(西城)



田中 彩紅(大門)



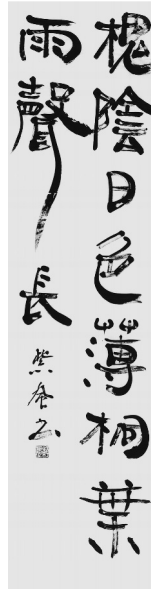
安田 恵玉(福山)



森本 恵子(山王)



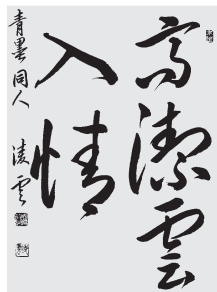
林 桜華(福山)



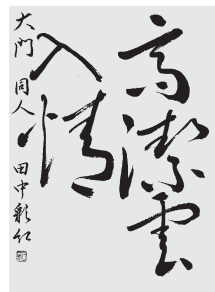
榎岡 紫風(上下)



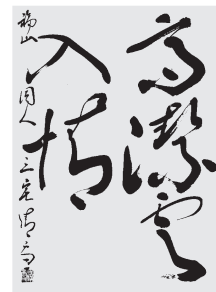
藤井 博春(福山)



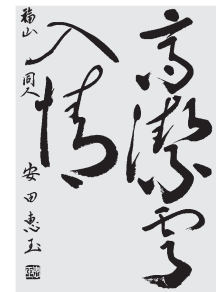
安藤 凌雲(青墨)



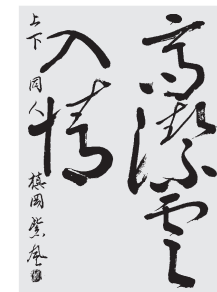
田中 彩紅(大門)



三宅 清雪(福山)



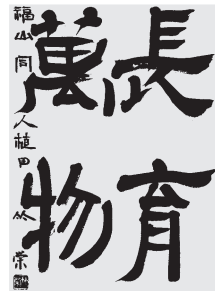
安田 恵玉(福山)



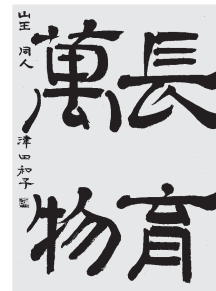
榎岡 紫風(上下)



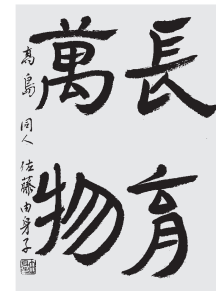
三宅 清雪(福山)



植田 竹栄(福山)



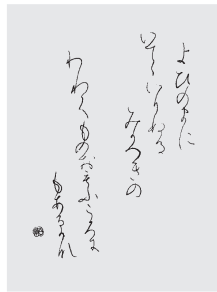
津田 和子(山王)



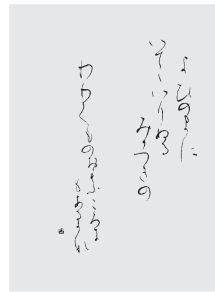
佐藤由身子(高島)



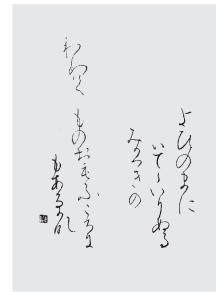
榎岡 紫風(上下)



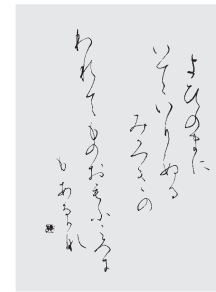
富士原百扇(三星)



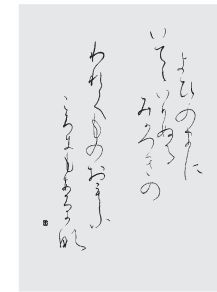
美除 千鶴(庄原)



太田 紅嶺(府中)



矢研田聡子(廣島)

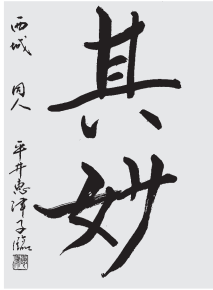


渡邊 里彩(光筆)

このページは書玄同人(全部門師範合格者)の秀作を紹介する欄です。

# 同人秀作

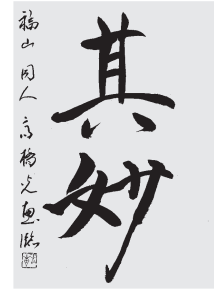
審査 山田翠香



平井恵津子(西城)



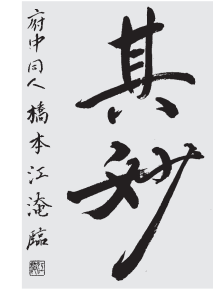
津田 和子(山王)



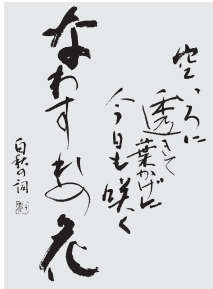
高橋 光恵(福山)



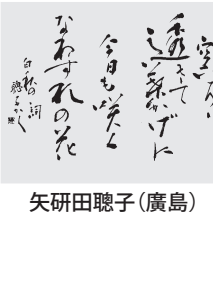
榎岡 紫風(上下)



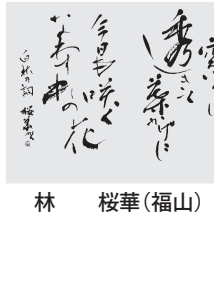
橋本 江淹(府中)



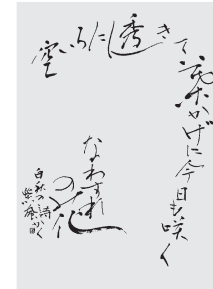
美除 千鶴(庄原)



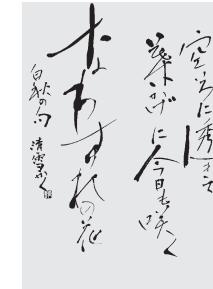
矢研田聰子(広島)



林 桜華(福山)



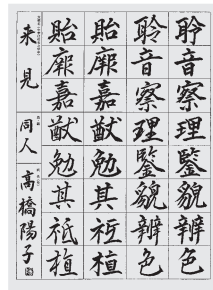
榎岡 紫風(上下)



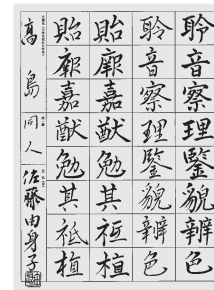
三宅 清雪(福山)



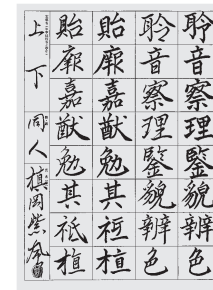
田中 彩紅(大門)



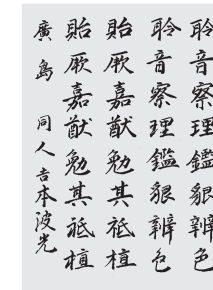
高橋 陽子(来見)



佐藤由身子(高島)



榎岡 紫風(上下)



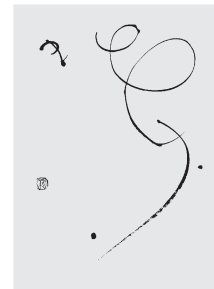
吉本 波光(広島)



吉本 波光(広島)



高橋 陽子(来見)



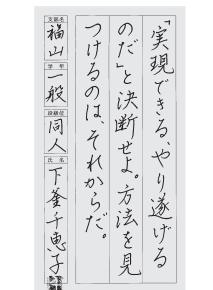
榎岡 紫風(上下)



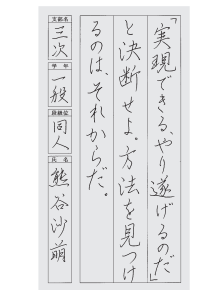
安田 恵玉(福山)



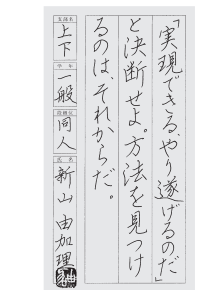
佐藤由身子(高島)



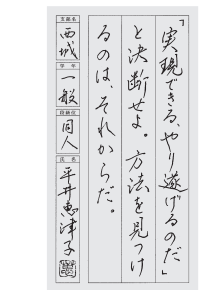
下釜千恵子(福山)



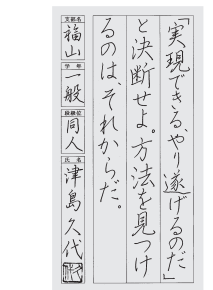
熊谷 沙萌(三次)



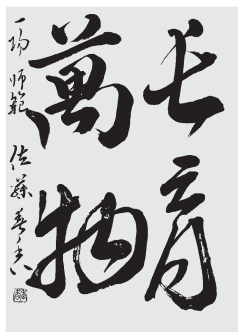
新山由加理(上下)



平井恵津子(西城)



津島 久代(福山)



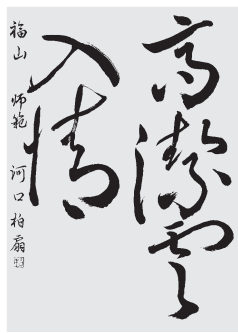
佐藤 春香(一陽)

流麗な筆致で奏できるように筆が舞う。出来ばえのよい作品です。



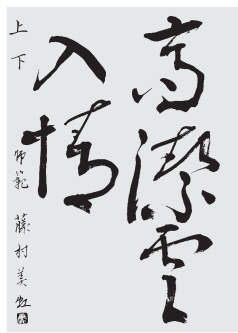
佐藤 千代(東城)

伸びやかな筆致で、動きのある安定作ですが「萬」の草冠が気になります。それをわねのける秀作。



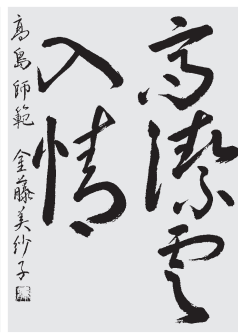
河口 柏扇(福山)

淡々とした筆の流れが、穏やかな気持ちにさせられる。そんな作品です。



藤村 美虹(上下)

文字の大小、強弱のメリハリが効いていて、存在感のある作品です。



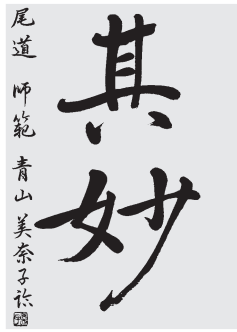
金藤美紗子(高島)

安定感のある線筆ながらリズムミカルに動き、清々しい。秀逸です。



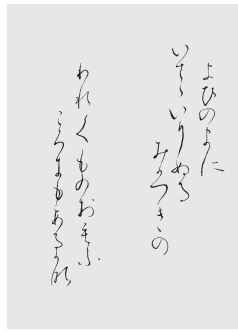
菅 葵香(換鷺)

筆のばねを巧みに使い、抑揚に富んだ作品。



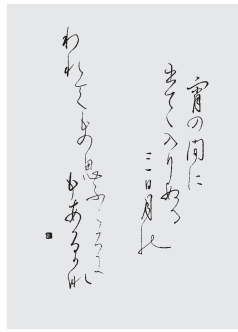
青山美奈子(尾道)

筆脈はどこまでも続き、リズムに乗ってのびやかに表現できた。



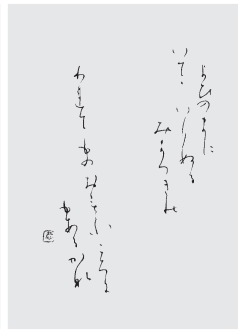
世良 禮子(光筆)

品のある料紙と相まって、ゆったりとした伸びやかな線が生かされ、美しい。



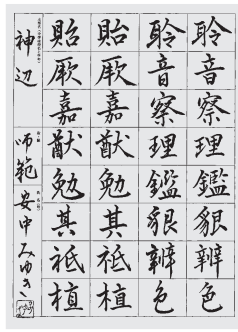
府木 竹園(福山)

確かな線筆で、強弱、濃淡、潤滑がしっかり表われた見ごたえのある作品。



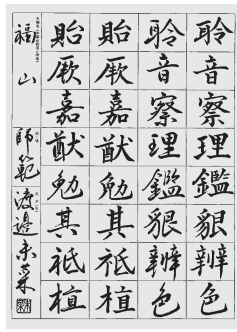
井上恭仁子(東京)

温和な味わいの造形と紫墨の発色が、さらに優雅さを増すようで、すばらしい。



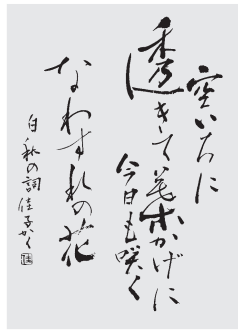
安中みゆき(神辺)

素直な書きぶり、やさしい細字の作品で好感が持てる。



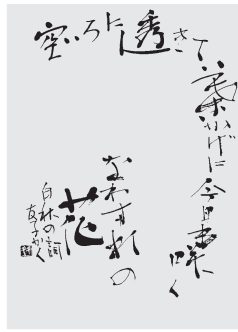
渡邊 未菜(福山)

伸び伸びと大らかな細字作品。書き慣れた線質が美しい。



通山 佳子(福山)

文字の大小で、うまくまとめている。好感ももてる作品です。



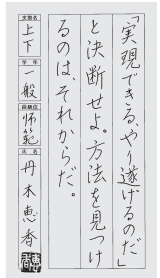
栗栖 友子(上下)

余白を生かした構成で明るい作品。細線もよく効いている。



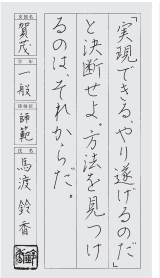
安中みゆき(神辺)

空間の活動を大きく、運筆も速くあるいは遅く、リズムに乗って表現できた。



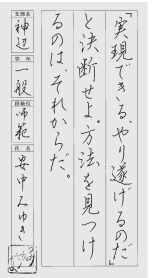
丹木 恵香(上下)

一字一字でいねいに書き上げた。確かな造形ですばらしい。



馬渡 鈴香(賀茂)

落ち着いた筆致。安定感があり佳作。



安中みゆき(神辺)

ていねいに書かれ造形も確か。線の流れが美しい。



来山 佳織(福山)

三分割されたパーツが、落ち着いたタッチで、柔軟な自然体が佳。



峰松 建太(道三)

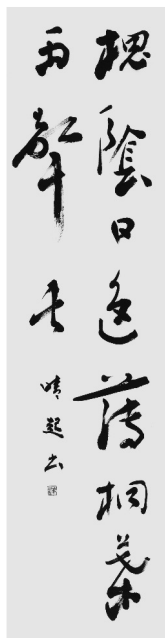
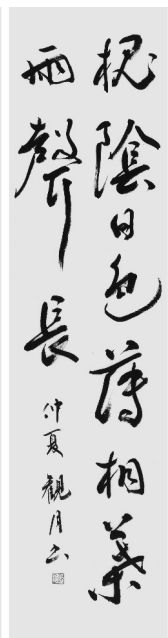
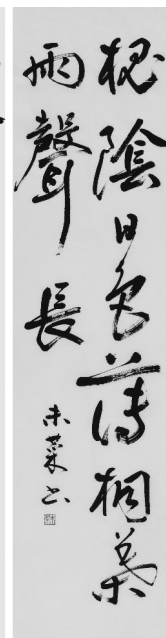
しっかりとした太い線で、墨の潤滑、運筆のびやかで、堂々とした作品。



三宅 蘭圃(換鷺)

安定した造形、落ち着いた細字の作品です。

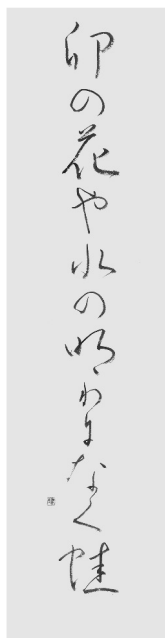
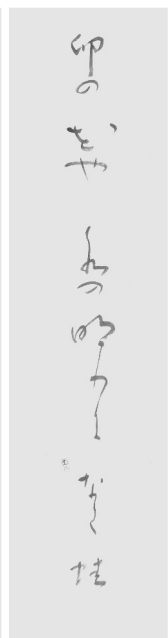
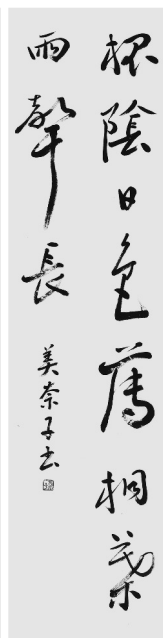
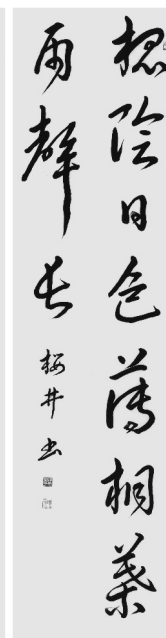
漢字・仮名条幅



寸評

漢字条幅

- 渡邊 末菜さん・天位  
筆良く動き、メリハリの効いた筆線そして造形がみごと。紙面の収めも申し分なしの優作。
- 藤村 美虹さん・天位  
リズムカルに弾む筆線に魅了され、私の心まで軽やかになりました。
- 朝日 観月さん・天位  
日頃の学書、鍛錬が作品からにじみ出ています。恐るべき高校生。今後、益々楽しみです。
- 大辻 晴起さん・天位  
独特なタッチ。そのフォルムを生かしながら全体として調和を図っている力量はなかなかのもの。



仮名条幅


- 四田 桜井さん・天位  
確かな造形と用筆の行草の秀作。うねりを効かせながらの筆線がスバラシイ。
- 青山美奈子さん・天位  
筆づかいに無理がなく、丁寧な運筆からくり出される細味の線も心地良い。
- 井上恭仁子さん・天位  
墨色と筆致があいまって、何とも言えない叙情味が伝わってくる。いつもながらのみごとく仮名作品。
- 峰松 建太さん・天位  
丁寧な運筆からくり出される筆線に好感が持てる。やや硬さがみられるところもあるが今後に期待。

おねがい

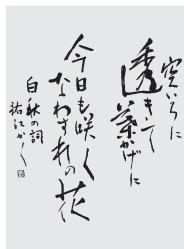
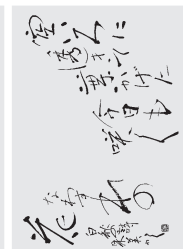
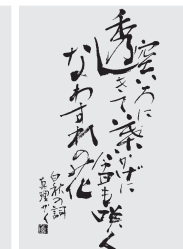
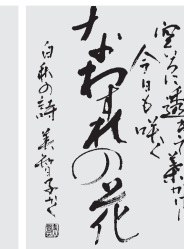
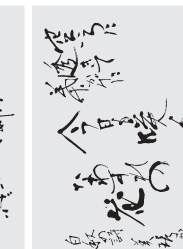
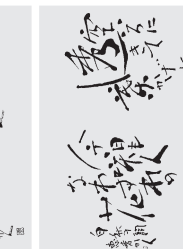
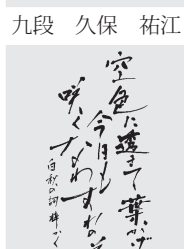
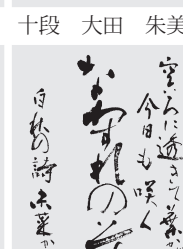
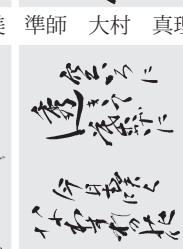
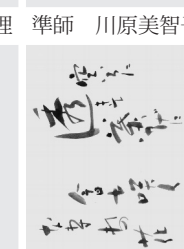
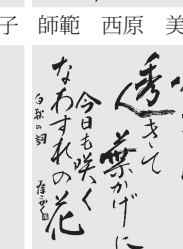
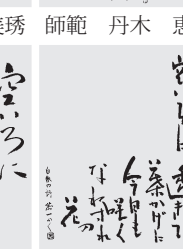
- 競書作品には、学年・段級・氏名（雅号）など自書してください。また、詩文・一字創作・仮名・条幅作品には、作品面左下に鉛筆で明記してください。
- 出品シールは競書作品とシールの支部名・学年・段級・氏名（雅号）などご確認の上、作品裏面の右下部に貼付ください。シールの記載事項に誤り（段級を除く）や変更がある場合は、その箇所を赤字で訂正したうえで、貼付出品してください。

今月の優秀作品

臨書

 <p>福山 推薦 渡邊 未菜</p>	 <p>新市 準師 近藤 容子</p>	 <p>福山 準師 宮原 杏竹</p>	 <p>福山 師範 浦島 祐佳</p>	 <p>西誠 師範 荒木 静枝</p>	 <p>福山 師範 峰松 建太</p>
 <p>福山 4級 宇田 爽加</p>	 <p>東京 2級 日向 誠</p>	 <p>大阪 準優級 高松 暁美</p>	 <p>福山 準優 窪岡 孝子</p>	 <p>三星 準特級 新田 美秀</p>	 <p>高島 推薦 神原 美修</p>

詩文

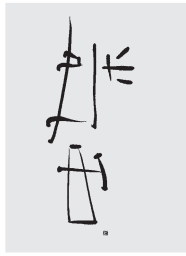
 <p>九段 久保 祐江</p>	 <p>十段 大田 朱美</p>	 <p>準師 大村 真理</p>	 <p>準師 川原美智子</p>	 <p>師範 西原 美瑠</p>	 <p>師範 丹木 恵香</p>
 <p>初段 橋本 梓</p>	 <p>初段 渡邊 未菜</p>	 <p>三段 新田 美秀</p>	 <p>五段 井上恭仁子</p>	 <p>八段 橋本美保子</p>	 <p>九段 宮崎 恭一</p>

細字

 <p>九段 大田 朱美</p>	 <p>十段 木本三津子</p>	 <p>十段 室本 章子</p>	 <p>十段 馬屋原栄子</p>	 <p>準師 佐藤 春香</p>	 <p>準師 河上千恵子</p>
 <p>初段 長谷川陽子</p>	 <p>初段 窪岡 孝子</p>	 <p>四段 堂山ななみ</p>	 <p>七段 寄高 桂子</p>	 <p>八段 青山 俊美</p>	 <p>九段 山田 理子</p>

今月の優秀作品

一字創作



十段 青山美奈子



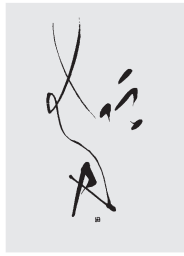
準師 大村 真理



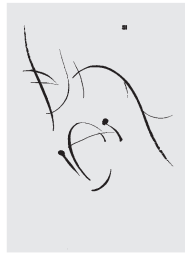
準師 浦島 祐佳



師範 西原 美瑠



師範 宮原 杏竹



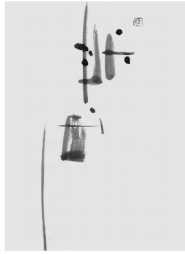
師範 藤村 美虹



三段 佐藤 千代



六段 橋本 梓



七段 井上恭仁子



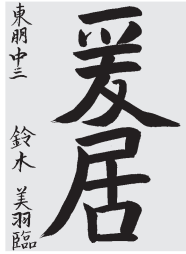
八段 大辻 晴起



九段 山田 理子



十段 木村真理子



準特 鈴木 美羽



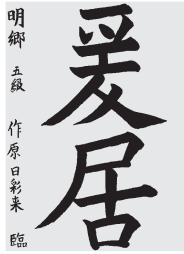
推薦 藤川 弥香



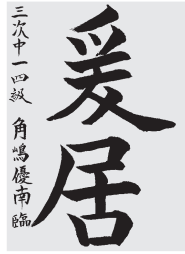
準優 宮部 萌衣



準特 廣江 真緒

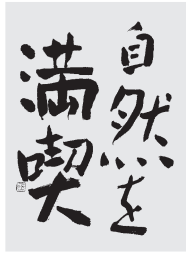


5級 作原日彩来

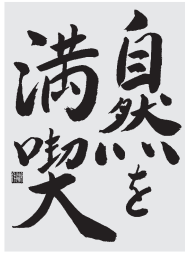


4級 角嶋 優南

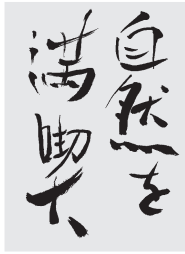
中学臨書



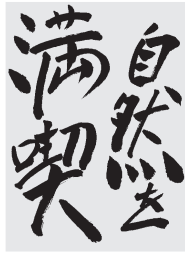
八段 三宅丞太郎



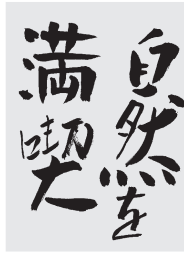
十段 前田 涼那



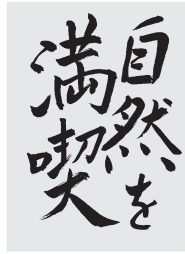
5級 黒澤菜野伽



四段 丸山 凜奈

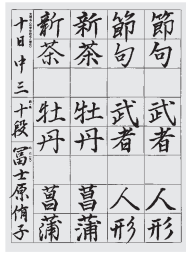


6級 本安 倫規

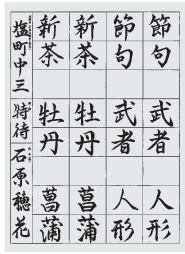


4級 山崎 寧々

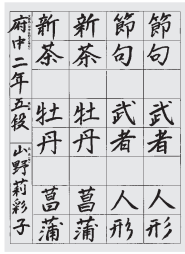
中学詩文



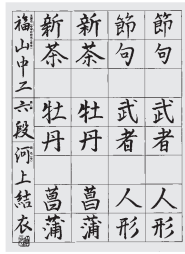
十段 富士原侑子



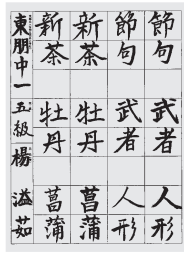
特待 石原 穂花



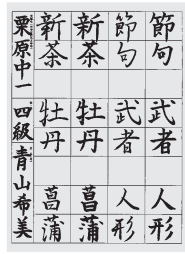
五段 山野莉彩子



六段 河上 結衣



5級 楊 溢茹



4級 青山 希美

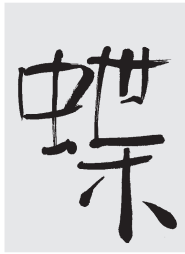
中学細字



九段 柏原 優月



十段 藤光 美緒



三段 松浦 花怜



四段 丸山 凜奈



5級 江野 瑠子



4級 西谷侖里香

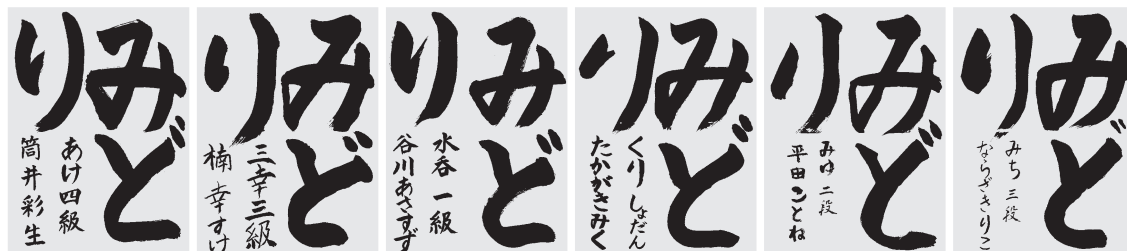
中学一字創作

今月の優秀作品



10級 柳本 彩羽 8級 矢壁 加菜 7級 ならざきあこ 2級 坂田 莉菜 三段 小村 昌嗣 10級 平田 千織

幼年・小一



4級 筒井 彩生 3級 楠 幸祐 1級 谷川あさず 初段 高垣 美駈 二段 平田ことね 三段 ならざきりこ

小二



6級 大畑 裕咲 4級 佐村 祐香 3級 河内理香子 二段 野間 杏風 五段 新田 真矢 六段 香川 佳穂

小三



4級 渡辺 愛菜 三段 藤本彩妃奈 五段 奥田 桃 八段 河上 瑛太 九段 寶諸 凜誠 十段 房野 灯里

小四



六段 檀上 真結 八段 門田 穂奏 九段 岡田 果耶 十段 北崎愛怜奈 十段 増成由莉奈 特待 谷川 未羽

小五



六段 坂口 緋菜 七段 田坂 心希 九段 麻生萌々子 十段 宮田 琉平 特待 山川 瑠菜 特待 元広 晴馬

小六

今月の優秀作品



四段 小谷 遥香 十段 佐藤 彩 十段 大川 仁瑚 特待 楠本 琶子 特待 那須 彩香 特待 青山 希美

中一



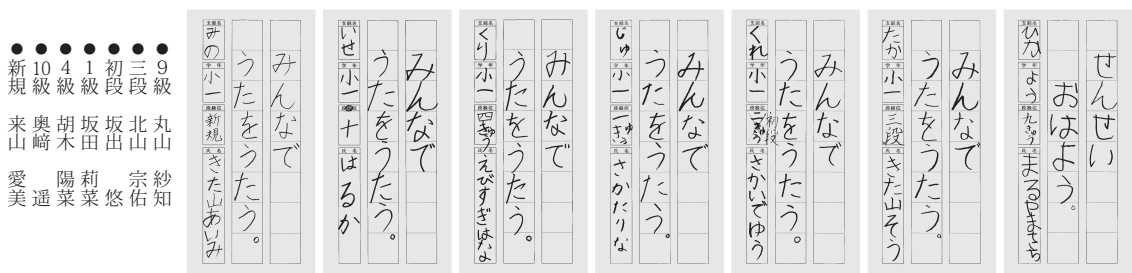
八段 河久 沙世 九段 門井亜衣子 十段 横山 凛 特待 渡邊 佳奈 特待 山野莉彩子 特待 重原 朔

中二

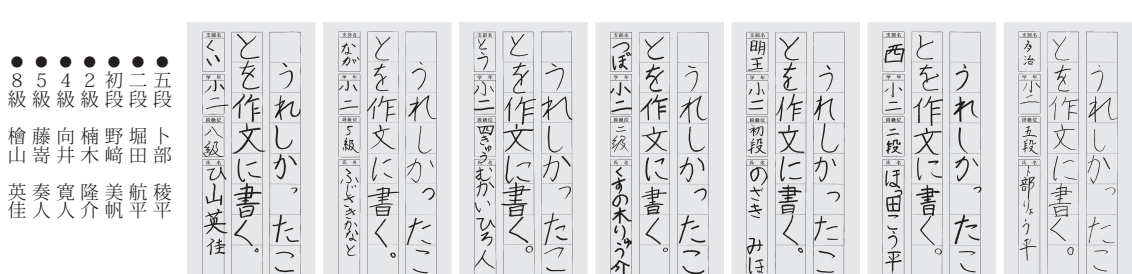


特待 栗栖 舞 特待 青山 恵夢 特待 角屋 咲良 特待 森木 唯依 特待 柏原 優月 特待 藤光 美緒

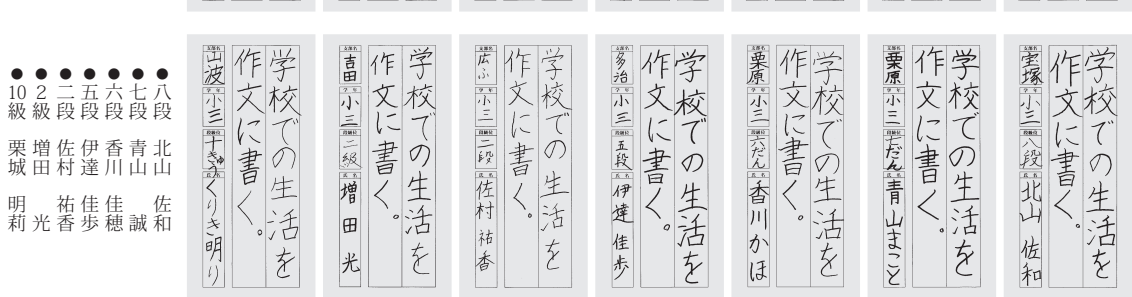
中三



幼年・小一



小二



小三



今月の優秀作品

小四

川口小四段 寶諸 貞誠  
学級会で体力作り  
について話し合う。

伊勢小四段 房野 灯里  
学級会で体力作り  
について話し合う。

兼原小四段 橋塚 榮乃  
学級会で体力作り  
について話し合う。

上下小四段 右代谷 夏帆  
学級会で体力作り  
について話し合う。

望月小四段 出店 樹依  
学級会で体力作り  
について話し合う。

明王小四段 下谷 悽木朗  
学級会で体力作り  
について話し合う。

八次小四段 新田 華歩  
学級会で体力作り  
について話し合う。

- 九段 寶諸 凛誠
- 九段 房野 灯里
- 八段 橋塚 榮乃
- 七段 右代谷 夏帆
- 四段 出店 樹依
- 三段 下谷 悽木朗
- 二段 新田 華歩

小五

卡小五十段 岡田 果耶  
去年の夏海に近い  
おじさんの家へ遊び  
に行った。

箕島小五九段 檀上 真結  
去年の夏海に近い  
おじさんの家へ遊び  
に行った。

御幸小五八段 渡邊 十和子  
去年の夏海に近い  
おじさんの家へ遊び  
に行った。

天津小五七段 坂本 凜  
去年の夏海に近い  
おじさんの家へ遊び  
に行った。

水谷小五六段 前田 禅  
去年の夏海に近い  
おじさんの家へ遊び  
に行った。

米貞小五二段 谷 那智  
去年の夏海に近い  
おじさんの家へ遊び  
に行った。

上小五四段 中山 來愛  
去年の夏海に近い  
おじさんの家へ遊び  
に行った。

- 十段 岡田 果耶
- 九段 檀上 真結
- 八段 渡邊 十和子
- 七段 坂本 凜
- 六段 前田 禅
- 二段 谷 那智
- 四段 中山 來愛

小六

坪生小六特待 松浦 碧美  
明治の新政府ができ、  
江戸を東京と名を改  
めて首都に定めた。

水谷小六特待 門田 ひかり  
明治の新政府ができ、  
江戸を東京と名を改  
めて首都に定めた。

上下小六七段 田邊 未希  
明治の新政府ができ、  
江戸を東京と名を改  
めて首都に定めた。

天津小六九段 野田 綺咲乃  
明治の新政府ができ、  
江戸を東京と名を改  
めて首都に定めた。

駒北小六一六段 多賀 勇斗  
明治の新政府ができ、  
江戸を東京と名を改  
めて首都に定めた。

三和 小六七段 小川 心音  
明治の新政府ができ、  
江戸を東京と名を改  
めて首都に定めた。

新中 小六十段 大西 由希子  
明治の新政府ができ、  
江戸を東京と名を改  
めて首都に定めた。

- 特待 松浦 碧美
- 特待 門田 ひかり
- 十段 田辺 未希
- 九段 野田 綺咲乃
- 八段 多賀 勇斗
- 七段 小川 心音
- 十段 大西 由希子

中一

栗原中一特待 青山 希美  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいという  
意欲がおこる。

鳳中一特待 荒牧 絢  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいという  
意欲がおこる。

中一 中一特待 近藤 桂心  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

東明中一十段 山崎 寧々  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

八次中一 九段 門田 柊音  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

幸十中一 七段 村上 琉月  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

栗原中一 初段 高橋 笙  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

- 特待 青山 希美
- 特待 荒牧 絢
- 十段 近藤 桂心
- 十段 山崎 寧々
- 九段 門田 柊音
- 七段 村上 琉月
- 初段 高橋 笙

中二

鳳中二特待 松井 優加子  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

城北中二特待 丸山 凛奈  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

大門中二特待 西尾 瑠花  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

中二 中二特待 宮部 萌衣  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

三次中二 十段 橋山 凛  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

盛蓮中二 六段 山根 優穂  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

栗原中二 三段 平川 夏穂  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

- 特待 松井 優加子
- 特待 丸山 凛奈
- 特待 西尾 瑠花
- 特待 宮部 萌衣
- 十段 横山 凛
- 六段 山根 優穂
- 三段 平川 夏穂

中三

八次中三特待 藤本 倅奈  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

十日中三特待 富士原 侑子  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

栗原中三 特待 門田 のとか  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

城北中三特待 小林 莉子  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

大附中三特待 前田 涼那  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

誠中三 特待 角屋 咲良  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

中三 三年 特待 真田 紀奈  
美しいものに触れると、その  
感動を表現したいとい  
う意欲がおこる。

- 特待 藤本 倅奈
- 特待 富士原 侑子
- 特待 門田 のとか
- 特待 小林 莉子
- 特待 前田 涼那
- 特待 角屋 咲良
- 特待 真田 紀奈